

「指導の意図」を明確にした授業づくりのポイント

指導力向上道徳科計画訪問様式

第 学 年 道徳科学習指導案

日 時：令和 年 月 日（ ）
場 所：
授業者：

(教科書会社名 ○○○○)



第1学年及び第2学年の指導の観点

(6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることを基にする。互いが相手に対して思いやりの心をもって接する大切さを考え、相手の考えや気持ちに気付くことや、立場を自分に置き換えて推し量り、身近な人に温かい心で接していこうとする心情を育てること。

- 1 主題名
- 2 教材名 「
- 3 主題構成表

① 内容項目 (例)

B-(6) 親切、思いやり
身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

② 価値の分析

※3つ程度にまとめて書く。
※学習指導要領の(1)内容項目の概要を確認する。
・**内容項目で大切にしたいこと**
※本時で扱う内容項目について、授業者が特に大切にしたいことを、学習指導要領解説等を基に明らかにする。
・**この段階では、**
～ことに気付かせたい。
・**教師の願いをここに入れる。**
(例)
～な指導をすることが重要である。
～なことを身に付けることが大切である。

③ 内容項目から見た児童生徒の実態

※3つ程度にまとめ、姿で書く。
内容項目の視点で書く。

(例)
よさ ～している。
よさ・課題 ～してしまうことがある。
課題 ～する経験が少ない。

④ 要因

上記のことを生み出している要因を書く。

- ・(例) 友達を親切にすることは大切だと分かっている。
- ・(例) 相手の考えや気持ちを想像する経験が少ないため、相手の困り感に対して、どのように接したらよいか、どのような行動をしたらよいか分からない。
- ・(例) 自分中心の考え方をすることが多く、褒められることを目的とした親切になりがちになる。

⑤ 教材の分析

※教材のあらすじを書くのではありません。
考えさせたい道徳的価値に関わる事項がどのように含まれているのか検討をします。

※考えさせたい場面を3つ程度にまとめて書く。

- ・どんなことに気付いたり、考えさせられたりできる教材なのか。

(例) ～することの大切さを考えられる教材である。

考え、議論したいこと

- ・どんな場面で、どんなことに気付いたり、考えさせたりできるのか。

※授業者は、どんな道徳性を育てたいのか(心情、判断力、実践意欲、態度)文末に位置付ける。

(例) ～していく**心情**を育てていきたい。

⑥ ねらい

どんなことに気づき、どんな**道徳性**(心情、判断力、実践意欲と態度)を育てたいのか?
(例) 温かい心で親切にすると、相手もうれしい気持ちになることに**気づき**、相手のことを考えてやさしく接しようとする**心情**を育てる。

育てたい道徳性は一致していますか?

⑧ 展開の構想

※教材の分析を基に展開を構想する。

- 道徳科の学習を通して、以下の1～4を構想する。
- 1 道徳的諸価値を理解する
 - 2 自己を見つめる
 - 3 物事を(広い視野から)多面的・多角的に考える
 - 4 自己の生き方についての考えを深める

⑨ 基本発問 (◎中心発問)

- 要因に関わる発問はありますか?
- ふと、立ち止まらせるような深めの発問はありますか?
- ◎
- ねらいにせまるための発問の工夫はありますか?

4 道徳科の評価

○多面的・多角的な見方へと発展しているか

※児童生徒の姿や発言を想定して書く。

○自分自身との関わりの中で深めているか

※児童生徒の姿や発言を想定して書く。

